

# アグリワークポイント AGRIWORKPOINT



## 次年度に向けての作業

果樹林産センター 青島



### 品種更新・改植

30年生を越えた老齢樹や高接後15年経過した樹は生産力が低下しているので、若返りを図り改植を進めましょう。苗木は乾燥に弱いため、根を乾かさないように注意し、植え付け後は充分なかん水を行いましょう。

### 剪定

近年、園地内でも樹ごとで着果のバラツキが増えています。同じ園地内でも樹の状態に応じた剪定を行いましょう。剪定を行う事により、作業性の向上や日照の確保、薬剤散布がしやすくなります。効率の良い剪定のためには園地や樹ごとに優先順位をつけ、先に表年が予想される樹を剪定します。表年の樹は「早く強く」、裏年の樹には「遅く弱く」を基本にして効率良く作業を進めましょう。また、ノコギリなどで太い枝を切った場合は切り口にトップジンMペーストなどのゆ合剤を塗り、枯れ込み予防をしましょう。

### 春肥

春肥は、新芽の充実や幼果の肥大に影響を与えます。気温が上がると樹体内での養分移動が始まります。地温が10度前後を上回るようになると、根が活動し始めます。春肥は、発芽期や生育初期以降の生育に重要な役割を果たすので、3月中旬を目安に施肥を行いましょう。

#### 3月中旬

早生	中部柑橘共通配合	90 kg / 10 a
青島	中部柑橘共通配合	105 kg / 10 a

### 病害虫防除

害虫の活動も暖かくなるにつれて徐々に始まります。マシン油を使ったカイガラムシ類の防除適期は3月までとなっています。ICボルドー66Dとの散布間隔を14日程度空けてください。

かいよう病	ICボルドー66D	60倍
ミカンハダニ、カイガラムシ類		60倍

マシン油乳剤(97%) 60倍